

(別表第1の4)

事業所名 グループホームいしい

## 目標達成計画

作成日：平成21年12月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	1	現在の理念を基に、地域との交流や連携を実践しているが、それを織り込んだ形でホームの思いを内外に伝えられていないため、職員全員で話し合いを行い、それを盛り込んだ理念を掲げ実践していく必要がある。	理念に「地域」を取り込んだものにし、内外に浸透できるように伝えていく。	職員会を開催した際に、話し合いにより、どのように盛り込んでいくかを検討する。	6 か月	職員会を開催し、話し合い「地域とともに3つの心」と文言化したものを、理念の最初に入れ込んだ。(事業所内に掲示済み)理念を基にBS法にて、地域を織り込んだ言葉を一行作成し、朝の唱和にて職員に浸透できるようにしている。「3つの心を持って、地域に溶け込めるよう積極的に自らが動く」運営推進会議でも、その内容について発表し、紙媒体にし配布する。
2	4	家族会の代表者に出席してもらっているが、他の家族にも出席をお願いして、異なった視点から意見や思いを述べてもらうなど、サービスの向上につなげていきたい。	家族会を開催し、運営推進会議について再度説明をし、ご家族の参加を促したり、交代制などでの参加を検討する。	家族会を開催し、運営推進会議についての内容などを再度説明をし、ご家族の参加を促がしたり、交代制などでの参加を検討する。	12 か月	平成22年度5月に家族会を開催し、議題で検討予定としている。
3	33	看取り介護は大きな精神的負担がかかることから、利用者や家族を直接支援する職員はベテランでも不安を感じることもある。今後、メンタル面の話し合いの時間を設けたり、不安を軽減するような対策を講じ、さらに質の高いケアが実践が必要となる。	現場職員の安心につながる内容を把握し、運営に取り入れる。	職員会を開催し、現場の職員に意見を聞きながら少しでも安心できる環境づくりを行う。	12 か月	職員会にて、AEDなどの器具より、何かあった時の相談体制の充実を職員が望んでいたため、再度、緊急時やメンタルのフォローアップの体制見直しと、精神科医の相談体制も整っている事を伝達したり、連絡が確実に付くよう体制の確認を行った。また、AEDについては、自販機会社を活用した提案を行っている最中である。
4	35	災害発生時に、地域の一員としてホームができることを内部で協議した上で、運営推進会議等を通して地域に発信し、地域と相互に協力し合える体制を築く必要がある。	災害発生時の外部への協力体制を具体化する。	職員会にて話し合いを行い、運営推進会議にてそれを基に意見を頂き、協力体制の具体的な内容を決めていく。	12 か月	職員会では、物資や場所、人的資源の提供はどうかなどの意見がでた。現在、地域資源マップの作成を行っていることから、それにつなげながら、運営推進会議で意見を聞き、具体化していく段階となっている。

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。